

## 第4章 指標の設定

- 1 指標設定の考え方
- 2 重点課題と目標値の関連
- 3 第2次計画の目標値

## 1 指標設定の考え方

指標は、施策の効果が反映され、実行可能性のあるものを設定します。

なお、指標設定にあたっては、第1次計画の指標と国が示した指標を勘案し、継続的に把握可能な指標を設定します。

また、計画期間は『新潟県「夢おこし」政策プラン』等の上位計画に合わせて、平成25年度から平成28年度までの計画としますが、指標の目標設定は「健康にいがた21（第2次）」と同様、10年間を見据えた設定（平成34年）を行った上で、平成28年度までの目標値としています。

## 2 重点課題と目標値の関連

生涯にわたる  
健康づくり

- 食育に関心を持っている県民の割合の増加（成人）
- 朝食を欠食する県民の割合の減少
- 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している県民の割合の増加
- 適正体重を維持している者の増加
- 健康づくり支援店の支援内容の拡充
- 適切な栄養管理を行う特定給食施設の増加
- 災害時支援システムが機能している給食施設の割合の増加
- 災害時に対応できる食料品を備蓄している県民の割合の増加
- むし歯のない3歳児、12歳児の割合の増加
- 8020達成者の割合の増加
- 一口30回噛んで食べるよう意識している人の割合の増加

家庭における  
共食を通じた  
子どもへの  
食育の推進

- \*食育に関心を持っている県民の割合の増加（成人）
- \*朝食を欠食する県民の割合の減少
- \*内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している県民の割合の増加

新潟の食の  
理解と継承

- 県からの食の安全・安心についての情報が十分に提供されていると感じる人の割合の増加
- 学校給食における県産農林水産物を使用する割合（食材数）の増加
- 学校給食における国産農林水産物を使用する割合（食材数）の増加
- 食育の推進に関わるボランティア数の増加
- 環境保全型農業に積極的に取り組む「エコファーマー」の累計新規認定件数の増加
- 学童等体験活動参加者数の増加（中山間地域における農山漁村体験ニアリーン・ツーリズム誘客数）
- \*食育に関心を持っている県民の割合の増加（成人）

\* : 再掲

### 3 第2次計画の目標値

色つきセル：新規 ◆：変更 ★：食育推進基本計画（内閣府）と同様

指標			第1次計画 策定時 (H16)	現状値 (H23)	目標値(H28)	長期目標値 (H34)	出典
★食育に関心を持っている県民の割合の増加(成人)			(H18) 59.8%	57.2%	70%以上	90%以上	県民健康・栄養実態調査
◆★朝食を欠食する県民の割合の減少	小学5年生		2.6%	1.1%	0%	0%	県民健康・栄養実態調査
	15～19歳	男子	15.6%	11.4%	0%	0%	
		女子	4.0%	10.9%	0%	0%	
	20歳代	男性	18.0%	20.8%	20%以下	19%以下	
		女性	20.3%	18.1%	18%以下	17%以下	
	30歳代	男性	19.5%	28.7%	28%以下	27%以下	
		女性	7.0%	16.9%	16%以下	15%以下	
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加(成人)			—	(H24) 62.1%	69%以上	県民健康・栄養実態調査
	ふだんの食事における減塩の取組状況(成人)			—	(H24) 64.8%	70%以上	
	食塩摂取量の減少(成人)			11.6g	10.8g	10g未満	
内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している県民の割合の増加	野菜摂取量の増加(成人)			316.8g	323.3g	350g以上	
	果物摂取量が100g未満の者の割合の減少(成人)			—	56.9%	49%以下	
	歩数の増加	20～64歳		男性	7,870歩	7,352歩	7,800歩
		女性	7,082歩	7,228歩	7,600歩	8,400歩	
		男性	5,243歩	5,339歩	5,800歩	8,200歩	
		女性	4,531歩	4,149歩	4,600歩	6,300歩	
	65歳以上			—	—	5,200歩	
適正体重を維持している者の増加	肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生)		男子	—	10.8%	減少させる	学校保健統計調査
			女子	—	8.0%	減少させる	
	20歳代女性やせの者の割合の減少			26.2%	17.3%	20%以下	県民健康・栄養実態調査
	20～60歳代男性肥満者の割合の減少			25.3%	30.2%	30%以下	
	40～60歳代女性肥満者の割合の減少			23.4%	23.9%	21%以下	
◆健康づくり支援店の支援内容の拡充(支援内容を2つ以上実施する店の割合)	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の抑制			—	16.0%	16%以下	16%以下
	適切な栄養管理を行う特定給食施設の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)			39.4%	55.9%	65%以上	80%以上
	災害時対策システムが機能している給食施設の割合の増加			—	(参考) * 35.1%	37.1%以上	現状より5%増
	災害時に対応できる食料品を備蓄している県民の割合の増加			—	—	現状より5%増	現状より5%増
	むし歯のない3歳児の割合の増加			71.8%	82.8%	85%	90%
	むし歯のない12歳児の割合の増加			59.8%(H17)	71.2%	75%	80%
	8020達成者の割合の増加			26.6%	29.3%	35%	40%
	一口30回噛んで食べるよう意識している人の割合の増加			—	19.9%	25%	30%
	県から食の安全・安心についての情報が十分に提供されている感じる人の割合の増加			23.6%	38.2%	50%	—
	★学校給食における県産農林水産物を使用する割合(食材数)の増加			27.1%	34.2%	35.0%	—
★学校給食における国産農林水産物を使用する割合(食材数)の増加			—	79.6%	83.0%	—	地場産物活用状況調査
食育の推進に関わるボランティア数の増加			(H18) 165名	1,714名	3,000名	—	食品・流通課調査
◆環境保全型農業に積極的に取り組む「エコファーマー」の累計新規認定件数			—	16,744人	20,000人	—	農産園芸課調査
◆学童等体験活動参加者数の増加(中山間地域における農山漁村体験＝グリーン・ツーリズム誘客数)			87,418人・日	199,068人・日	24万人程度を目指す	—	地域農政推進課調査

※1 H18～23のデータを集計したものです。

※2 6月と11月の各1週間を調査期間としています。なお、目標は通年の目標値です。

※3 参加者数(人・日)は、実参加人数と体験活動のために当該市町村に滞在した日数の積の総和です。